



鈴木 琴葉 (2年)

最初は緊張しましたが、ホストファミリーから「なぜ遠慮しているの」と言ってもらったことで、積極的に話したり、物事を前向きに考えられるようになりました。またホストファミリーとの思い出は、隣のクリ

異文化に触れ視野が広がった

スマスーパーに連れて行ってもらったことです。規模が大きくて店も多く、飾りもきれいだったのでとてもわくわくしました。

異文化に触れ視野が広がったと思います。世界に関心を持つことができたので、今後の進路や就職などもっと広い視野で考えていきたいと思いました。

学校ではフランス語や法律、体育などさまざまな授業を受けました。制服がなかったり、考え方も自由で日本との違いを感じました。また学校のスポーツ大会にバレーボールの選手として出場し、予選リーグを勝ち抜き全体



松長根 誠大 (2年)

有意義な経験ができた学校

の3位になったことが思い出に残っています。

ホームステイ先ではテーブルサッカーやチェスなどボードゲームを教えてもらい、よく遊びました。私は日本から持っていったけん玉を教え、お互いの国の文化にも触れました。「次会うときまでにうまくなっていようね」と約束したので、また行きたいです。



現地の写真は関係者提供

△マールブルク市内を散策した葛高生ら
◁都内のドイツ大使館での集合写真

第24回欧州視察「ワインとミルクの旅」 5年ぶりのドイツ訪問に 充実の笑顔



高宮 野々花 (1年)

バディやホストファミリーたちが簡単な英語で話してくれたので会話を楽しむことができました。日本とドイツの違いとして、学校での学生たちの学ぼうという前向きな姿勢や積極性にとっても感心しました。

環境についてより関心を持つきっかけに

またスーパーでは環境配慮の表示をよく目にし、環境への意識の高さを感じました。環境分野に興味があるので、より学びを深めたいと思いました。

ドイツでは学びが多く、自分の力になっていると実感しています。今後も気になることや挑戦したいことには、失敗を恐れずに挑戦していきたいです。

今までの英語学習を生かし会話をするので、自分の英語力に自信をつけることができました。今も連絡を取り合える友達をつくることもできました。また興味があったドイツの工業に触れ、日本と異



遠藤 礼二郎 (2年)

高い技術力を実感

なり学習期間が長いこと、10年以上かけて資格取得をしたり、技術・技能を身に付けたりすることで、質の高いものができるのだと感じました。

初めての海外で価値観が変わりました。とても貴重な経験をすることができたので、これからも機会があったら、積極的に海外に行ってみたいと思います。



上原 徳之介 (2年)

ドイツでけん玉や折り紙について英語でプレゼンテーションをしました。現地の生徒たちが興味津々で聞いてくれてうれしかったです。けん玉に何度も挑戦したり、友達にも声をかけたりしてくれて、とても盛

目の前のチャンスに挑戦する

り上がりました。バディとは特に音楽について話をしました。聞き取れないときも自分から聞き返すなど理解を深めながら会話をすることができました。

5年ぶりの欧州視察という目の前のチャンスに挑戦して良かったですし、異文化を経験することは大切なことだと思いました。

くずまき高原国際交流推進協議会（中崎和久会長）が主催する第24回欧州視察「ワインとミルクの旅」は、11月22日から12月2日までの11日間の日程で行われ、葛高生5人を含む8人が視察に参加しました。生徒たちは、ドイツのマールブルク市で、6日間ホームステイをしながら、ホストファミリーでもある同世代のバディとともに現地の高校の授業に参加。交流会

では町や葛巻高校の取り組みを英語でプレゼンテーションしました。また浴衣姿でけん玉を紹介するなど日本文化も披露し、交流を深めました。バディやホストファミリーと英語でコミュニケーションを取り、ドイツの生活や文化に直接触れた生徒たちは、短い研修期間の中で多くのことを見聞きし貴重な経験をした様子で充実した笑顔を見せてくれました。

